

疾患細胞生物学研究会

開催日時

平成29年3月23日(木) 16:30~18:40

開催場所

藤井節郎記念医科学センター 2階 多目的室3

(1) 16:30~17:15

オートファジー欠損マウスからわかったこと

小松 雅明 博士

(新潟大学大学院医歯学総合研究科 遺伝子制御講座 分子生物学分野 教授)

[近年の主要論文] *Nature Reviews Gastroenterology & Hepatology* 185 (2017)
The American Journal of Human Genetics 99:683 (2016)
Nature Communications 7:12030 (2016)
Molecular Cell 51:618 (2013)

(2) 17:20~18:05

細胞内シグナル伝達系の可視化・定量化・操作

青木 一洋 博士

(自然科学研究機構 岡崎統合バイオセンター 定量生物学研究部門 教授)

[近年の主要論文] *Oncogene* 34:5607-5616 (2015)
Molecular and Cellular Biology 34:3272-90 (2014)
Molecular Cell 52:529-40 (2013)
Proc Natl Acad Sci USA 108:12675-12680 (2011)

(3) 18:10~18:40 パネルディスカッション

(参加者によるテーマの提案を歓迎します)

(4) 18:45~19:15 意見交換会

若手研究者の皆様のご参加をお待ちしています

本研究会では、細胞生物学的な観点から疾患研究を行っている研究者を講師として招待し、近年の成果をお話しいただきます。第1回となる今回は、「仁生」イノベーショングラント若手研究者勉強会支援事業のサポートを受けて、若手研究者のための企画を用意しました。講師の小松博士は、オートファジーの病態生理学的役割について世界をリードする研究を進めていらっしゃいます。もう一名の講師の青木博士は、イメージングと定量生物学を組み合わせた独創的なアプローチによりがん増殖シグナルの研究を展開されています。最先端の研究をご紹介いただけるものと思います。また、若くして独立し、PIとして活躍されている両博士と、パネルディスカッションを行う場も用意しました。貴重な助言や興味深い体験談を聞く良い機会になると思います。

●本研究会は、大学院特別講義を兼ねています。大学院生の皆様も、ぜひご来聴ください。

連絡先

先端酵素学研究所 炎症生物学分野
齊藤 達哉 (内線2540)